佐賀県文化財調査報告書第148集
鳥栖北部丘陵新都市関係文化財調査報告書2

柚比遺跡群1

序・例言　第1分冊　第2分冊　第3分冊

梅坂炭化米遺跡
今町梅坂西遺跡
大久保北遺跡
今町梅坂遺跡
三ヶ敷梅坂遺跡
今町大地添遺跡
長ノ原遺跡
平原遺跡
大久保遺跡

2001年3月
佐賀県教育委員会

序

本書は、地域振興整備公団による鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業に伴い、平成４年度から平成11年度にかけて佐賀県教育委員会・鳥栖市教育委員会・基山町教育委員会が協力して実施した柚比遺跡群発掘調査の記録をまとめたもので、平成14年度までに順次刊行を予定している調査報告書の第一冊目となるものです。

柚比遺跡群がもっとも栄えたのは今からおよそ二千年前の弥生時代の頃です。今回の調査で柚比本村遺跡から出土した赤漆玉鈿装鞘付銅剣は我が国を代表する弥生時代の美術工芸品であり、当時の先進的な技術や文化を偲ばせる遺品です。

この地に誕生する新しい街の愛称は「弥生が丘」と名付けられました。21世紀に新たな時を刻みはじめたこの街が、遙か古代と同様の活気あふれるふるさととなりますよう祈念してやみません。

本書が学術文化の向上に幾分とも寄与し、併せて郷土の歴史を学ぶ資料のひとつとして生涯教育や学校教育の場で活用されるものになれば幸いに存じます。

発刊にあたり、埋蔵文化財の保護に深い御理解と多大な御協力を賜った関係各位に対し衷心より篤くお礼を申し上げ、御挨拶といたします。

平成13年３月

佐賀県教育委員会

教育長　松　尾　正　廣

例　言

１　本書は、鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業（鳥栖地区）に伴い発掘調査を実施した柚比遺跡群の発掘調査報告書の第１冊である。

２　本書で報告する遺跡は、今町大地添遺跡、長ノ原遺跡、今町梅坂遺跡、今町梅坂西遺跡、梅坂炭化米遺跡、平原遺跡、大久保北遺跡、大久保遺跡、三ヶ敷梅坂遺跡の９遺跡である。

３　発掘調査は佐賀県教育委員会が主体となり、鳥栖市教育委員会・基山町教育委員会と合同で実施した。

４　発掘調査にあたっては、地域振興整備公団鳥栖都市開発事務所、佐賀県土木部都市計画課、鳥栖市建設部北部丘陵対策課、基山町企画課、並びに地元各位の協力を得た。

５　現地調査から報告書作成までの作業に従事したものは下記のとおりである。（五十音順）

発掘作業：秋山 幸一・秋山 末代・秋山 正己・秋吉 ヤツエ・東 善吉・天本 勲・天本 勇・天本 シゲノ
天野 輝男・天野 敏郎・天本 善記・飯田 学・石丸 道男・磯野 桂子・井田 幸子・伊藤 篤世
伊藤 千代・伊藤 マサ子・井上 郁・井上 イソエ・井上 シカエ・井上 正義・今泉 靖子・今村 明
今村 定夫・猪村 敏子・入江 勝義・岩永 和子・岩永 豊・岩橋 良年・岩本 照夫・上野 弘子
上杉 シゲ子・牛島 正雄・内田 晴美・内山 勝喜・内山 正夫・大石 局・大石 ハルエ・大隈 昭代
大隈 アサエ・大隈 文子・大島 啓子・大野 勝子・大野 健治・大野 清次・大山 一雄・岡 悦子
岡田 勇・緒方 アキエ・緒方 定雄・岡村 修・岡本 敏子・鬼塚 義知・於保 里美・川口 正行
川崎 あや子・川崎 郁子・川崎 康子・河東 由貴子・川又 勝・北原 一午・木原 實・空閑 隆利
久保山 隆弘・熊田 シズ子・黒田 キクノ・倉成 イツヨ・古賀 慶子・古賀 伍六・古賀 孝義
古賀 照代・古賀 ミスエ・後藤 チドリ・小屋町 壽々加・坂井 恵美・坂井 京子・酒井 静夫
酒井 冨士子・坂口 惠一・坂口 正男・坂本 雅仁・佐々木 ツゲノ・佐藤 一代・佐藤 サチ子
佐藤 繁美・佐藤 千代子・佐藤 ミチ子・執行 ハルヨ・執行 正臣・重松 アキエ・重松 卓・重松 義丸
篠原 勝實・柴田 泰美・下田 サクエ・下田 泰巳・城野 早苗・城島 光子・城本 五男・陣内 三十三
陣内 義美・末安 志津子・杉岡 嘉六・杉岡 健児・杉岡 テルヨ・鈴木 まさ子・高尾 治代
高尾 美津子・高田 政雪・高原 唯則・高見 文雄・武田 藤木・武田 ミツ子・田熊 ツユカ
田熊 スマヨ・立石 ミツヨ・田中 雅子・築地 アヤメ・筒井 トシエ・鶴田 秋吉・鶴田 政次
鶴田 道代・寺崎 イツ子・寺崎 和枝・時 シマ子・徳久 房男・轟木 寅之助・飛松 末雄・飛松 節夫
成富 強次・鳥飼 シゲ子・中川 定子・中川原 美智子・中島 一男・中島 トミ子・中島 守・中島 康幸
永島 富貴・永田 幸治・長野 一男・長野 清美・長野 十男・長野 正隆・永松 照彦・永松 三千代
中牟田 悟・中村 忠夫・中村 マリ子・中村 ヨシエ・中山 エミ子・中山 スミ子・成富 朝子
成富 常男・西田 幸信・西松 スエノ・西村 芳治・仁田 利宣・野下 八重子・野中 整・春田 良弘
林 フジエ・樋口 啓子・久富 初子・久富 義治・久光 新・平城 勇夫・平田 シゲ子・平塚 一義
平山 文子・平山 逸子・平山 敏繪・平山 利夫・平山 トシエ・平山 民子・廣川 ヨシ子・福岡 ユキノ
福山 ハツ子・藤田 文子・藤田 正一・藤田 信義・藤田 春江・舟木 カツヨ・古川 勇次・古沢 大蔵
古沢 春代・堀野 久子・前川 菊代・馬郡 司郎・松隈 キミ・松隈 孝子・松隈 紀子・松隈 マツ子
松田 保・松川 由三・松野 三次・松野 保・松野 ヨシエ・松本 隆・松元 満寿美・真子 桂子
溝口 ツネカ・峯野 恵美子・宮地 貞子・宮地 茂・村山 作次・村山 千江子・村山 照夫・村山 マサエ
村山 正禮・村山 早実・望月 貞子・森 健治・森 ツヤエ・森木 信子・森田 ヒサヨ・門司 功・梁井 郭
梁井 サチエ・柳川 スエ子・山内 勇雄・山内 勝・山内 律子・山岸 元二・山口 豊・山口 一
山下 文子・山下 親滋・山下 正義・山邊 喜代太・山本 セツ子・山本 ヨシ子・横尾 朝子・横枕 貫治
吉田 昭四郎・吉田 スエノ・吉田 年子・吉田 好江・吉戸 タツエ・渡辺 トキ子

調査補助：青木 敬・天本 早佳・家弓 慎介・池田 絢・石井 淳子・石橋 明子・市川 浩文・岩谷 史記・大庭 孝夫
岡 清和・岡 毅・小野 彰・河合 修・川崎 和崇・草場 誠司・蔵冨士 寛・権藤 和枝・佐藤 寛通
島 孝寿・島内 浩輔・下川 航也・下村 佐和子・武下 里織・高田 知恵・田中 聡一・堤 浩一朗
飛松 孝志・中村 利至久・新山 保和・西村 秀昭・原田 範昭・松尾 圭介・松雪 慶太・三池 徳雄
峰松 朝之・宮崎 智祥・村上 浩明・矢ヶ部 健太郎・安武 卓存・安永 浩・山口 亨・山下 弘訓
山田 真人

遺構実測：家田 淳一・石田 玲子・市川 浩文・内野 武史・岡 悦子・岡 毅・川副 麻理子・佐々木 達也・渋谷 格
島内 浩輔・下川 航也・下村 佐和子・白木原 宜・高松 由理・武田 健次郎・田中 大介・寺崎 美知代
徳永 貞紹・飛松 広美・西依 光恵・花田 京子・樋口 明美・樋口 秀信・久山 高史・藤田 暁子
藤田 春江・藤田 広子・(株)埋蔵文化財サポートシステム・森野 えり子・矢ヶ部 健太郎・湯浅 満暢

遺構写真撮影：家田 淳一・石田 玲子・内野 武史・岡 毅・(有)空中写真企画・黒田 祐一・小松 譲・佐々木 達也
渋谷 格・島 孝寿・下村 佐和子・白木原 宜・武下 里織・武谷 和彦・田中 大介・田中 正弘
徳永 貞紹・飛松 広美・西村 秀昭・樋口 秀信・久山 高史・山口 亨・湯浅 満暢

遺物整理：佐田谷 昌子・佐藤 ヨシエ・渋田 信子・陣内 香代子・高田 加代子・高嶋 カホル・森崎 和子

遺物実測：天本 和子・石橋 和子・一番ヶ瀬 富士子・江副 朋子・緒方 孝子・緒方 恭子・蒲原 淑子・久保 恭枝
上瀧 光子・末吉 由紀子・鶴田 啓子・永渕 笑美子・久山 高史・(株)埋蔵文化財サポートシステム
松野 富子・村里 育子・山口 亨・横枕 栄子

整図：石橋 和子・江副 朋子・緒方 恭子・鶴田 啓子・(株)埋蔵文化財サポートシステム・村里 育子・吉本 健一

遺物写真撮影：天本 千津代・天本 美穂子・家田 淳一・内野 武史・鹿田 昌宏・白木原 宜・高瀬 哲郎・田中 大介
(有)ダット・徳永 貞紹・湯浅 満暢

編集補助：齋藤 潤花・百崎 正子

6　本書の執筆・編集は平成12年度の調査員が行った。主な分担は下記のとおりである。

第１・２・５～９章：徳永 貞紹

第３章：田中 大介

第４章：鹿田 昌宏

第10章：白木原 宜

第11章：吉本 健一・徳永 貞紹・鹿田 昌宏・田中 大介

7　第２分冊第10章の図10－119～122は、基山中学気象クラブによる平原古墳（平原遺跡ST8001）の調査報告を再録したものである。関連部分の転載にあたっては当時の責任者である松隈嵩氏の快諾を得た。

出典：基山中学気象クラブ（1957）『気象クラブ研究年報　1956年度』基山中学科学部報告書No.12

本書の記載方法

１　本書で報告する遺跡は下記の略号を与え、実測図・写真等の記録類や出土遺物の注記等に使用している。

梅坂炭化米遺跡：ＹＵＭ　今町梅坂西遺跡：ＩＵＷ　大久保北遺跡：ＯＫＮ　今町梅坂遺跡：ＹＩＭ
三ヶ敷梅坂遺跡：ＭＫＵ　今町大地添遺跡：ＩＭＯ　長ノ原遺跡：ＮＮＧ
平原遺跡：ＨＲＢ　大久保遺跡：ＹＯＫ

２　個々の遺構名は、遺構の種別を表す英大文字２文字の分類記号（下記を参照）と遺構番号の組み合わせで示す。遺構番号の頭には、各遺跡ごとに地区名を示す数字を付けている。なお、小穴・柱穴は遺物の出土したものに限り、他の遺構とは別個の通し番号を与えている。

本書の遺構分類記号
SH：竪穴住居　SB：掘立柱建物　SJ：甕棺墓・土器棺墓　SP：木棺墓・土坑墓　SC：石棺墓・石蓋土坑墓
ST：古墳・墳丘墓　SD：溝・流路　SK：土坑　SX：その他の遺構・不明遺構　P:小穴・柱穴

３　挿図・表・写真図版は各章ごとの通し番号とし、例えば、第３章の図１を「図３－１」の要領で記す。

４　実測した出土遺物には８桁の遺物登録番号を１点ずつ付し、挿図中には各図ごとの通し番号を付した。

５　表で示した計測値は、寸法はセンチメートル、重量はグラム、方位・角度は度を単位とし、推定値に＋α、復元値に（　）を付けて表現する。

６　表中の「○」は有り、「×」は無し、「－」は不明・項目不要を意味する。

７　甕棺墓の表中、甕棺形式の「上甕」「下甕」の項目は、左側に土器の器種、右側に打ち欠きか否かを「欠」「完」で示す。

８　本書で用いる方位は国土座標第Ⅱ系の座標北とし、磁北はこれより西偏約６°10′である。

９　個別遺構図中に網で表現したものは、特に説明がない場合は下記のとおりとする。

炭化物・黒化　焼土・赤化　硬化　粘土

10　弥生時代～奈良・平安時代の時期区分と細分に関しては、土器様式編年を指標として下記のように表現する。

弥生時代：前期・中期・後期の３期区分とし、おおむね板付Ⅰ式併行を前期初頭、板付Ⅱ式古～中相併行を前期中頃、板付Ⅱ式新相併行を前期末、城ノ越式併行を中期初頭、須玖Ⅰ式古相を中期前葉、須玖Ⅰ式新相～須玖Ⅱ式古相を中期中葉、須玖Ⅱ式新相を中期後葉、高三潴式古相併行を後期初頭、高三潴式新相併行を後期前半、下大隈式併行を後期後半、西新式・惣座式併行を後期終末とする。細分が困難な場合は「前期末～中期初頭」等の要領で記し、逆に更なる細分が可能な場合は「中期中葉古」等の要領で記す。

古墳時代：前期・中期・後期の３期区分とし、須恵器出現以前の布留式併行期を前期、北部九州の須恵器編年である小田編年のⅠ期（型式）を中期、Ⅱ～Ⅵ期（型式）を後期とし、いわゆる飛鳥時代も古墳時代後期に含める。

奈良・平安時代：大宰府編年のⅡ～Ⅲ期（型式）併行を奈良時代前期、大宰府Ⅳ～Ⅴ期（型式）併行を奈良時代後期、大宰府Ⅵ期（型式）併行以降を平安時代とする。

報告書抄録

ふ り が な	ゆびいせきぐん
書　　名	柚比遺跡群１
副　書　名	鳥栖北部丘陵新都市関係文化財調査報告書２
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書
シリーズ番号	第148集
編　著　者	平成12年度の調査員（徳永　貞紹・白木原　宣・吉本　健一・鹿田　昌宏・田中　大介）
発 行 機 関	佐賀県教育委員会
住　　所	〒840-8570　佐賀県佐賀市城内１丁目１番59号　　電話：0952-24-2111（代）
発行年月日	平成13（西暦2001）年３月30日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村	コード 遺跡	北緯	東経	調査期間	調査面積 m²	調査原因
梅坂炭化米遺跡	佐賀県鳥栖市今町字梅坂、柚比町字大久保	41203	-	33 °24 ′02 ″	130 °31 ′18 ″	1992年10月～1994年2月	13,650	鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業
今町梅坂西遺跡	佐賀県鳥栖市今町字梅坂	41203	-	33 °24 ′11 ″	130 °31 ′09 ″	1993年5月～1996年12月	12,800	
大久保北遺跡	佐賀県鳥栖市柚比町字梅坂・大久保、今町字梅坂	41203	-	33 °24 ′05 ″	130 °31 ′08 ″	1992年10月～1996年1月	23,200	
今町梅坂遺跡	佐賀県鳥栖市今町字八ツ並・梅坂	41203	-	33 °24 ′11 ″	130 °31 ′20 ″	1995年9月～1998年7月	19,000	
三ヶ敷梅坂遺跡	佐賀県鳥栖市柚比町字梅坂 佐賀県三養基郡基山町大字園部字三ヶ敷	41203 41341	-	33 °24 ′28 ″	130 °30 ′57 ″	1996年4月～1997年1月	13,400	
今町大地添遺跡	佐賀県鳥栖市今町字岸田 佐賀県三養基郡基山町大字長野字会田	41203 41341	-	33 °24 ′06 ″	130 °31 ′44 ″	1996年1月～1996年8月	4,000	
長ノ原遺跡	佐賀県鳥栖市永吉町字来帰り	41203	-	33 °23 ′57 ″	130 °31 ′49 ″	1995年12月～1998年1月	7,500	
平原遺跡 3・5・7・8区	佐賀県鳥栖市柚比町字平原・大久保	41203	-	33 °23 ′55 ″	130 °31 ′22 ″	1992年7月～1995年11月	60,600	
大久保遺跡 1A・1・2・3・5・6・7区	佐賀県鳥栖市柚比町字大久保・平原	41203	-	33 °23 ′55 ″	130 °31 ′12 ″	1993年2月～1995年11月	57,800	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
梅坂炭化米遺跡	墓地・集落 集落	弥生 古墳～古代	甕棺墓3・土坑墓5・竪穴住居1 竪穴住居26・土坑7	弥生土器 土師器・須恵器 石器・鉄器・炭化穀物	多量の炭化穀物を含む土坑
今町梅坂西遺跡	墓地 古墳	弥生 古墳	甕棺墓33・土坑墓12 古墳2	弥生土器 須恵器・鉄器	-
大久保北遺跡	集落・墓地 集落・古墳	弥生 古墳～古代	竪穴住居19・土坑13・竪穴遺構1・焼土坑6・溝1 甕棺墓11 竪穴住居26・土坑4・古墳1	弥生土器・石器・土製品 土師器・須恵器 石器・土製品・瓦・耳環	-
今町梅坂遺跡	集落	古墳～古代	竪穴住居21・竪穴遺構2・土坑15	土師器・須恵器 石器・土製品	-
三ヶ敷梅坂遺跡	集落	古墳～古代	周溝状遺構・竪穴住居13・土坑6・道状遺構1	土師器・須恵器・瓦 石器・鞴羽口・鉄滓	-
今町大地添遺跡	散布地	古墳～奈良	祭祀遺構1	土師器・須恵器・瓦・鉄器	布留式併行期の祭祀遺構
長ノ原遺跡	居住地	縄文	-	縄文土器・石器	-
平原遺跡 3・5・7・8区	集落・墓地 集落・古墳	弥生 古墳～古代	竪穴住居293・掘立柱建物6・土坑186・溝37 甕棺墓47・土坑墓3 竪穴住居295・土坑51・溝22・古墳1	弥生土器・石器 鉄器 土師器・須恵器 石器・鉄器	細形銅戈鋳型（大久保遺跡と同一個体） 弥生時代の環濠 平原古墳
大久保遺跡 1A・1・2・3・5・6・7区	集落・墓地 集落・墓地	弥生 古墳～古代"	竪穴住居137・土坑54・土器焼成遺構1・焼成遺構?13 井戸?2・埋納遺構1・周溝状遺構2・甕棺墓197・土坑墓5 竪穴住居107・掘立柱建物21・土坑18・焼土坑2 土坑墓2・溝1	弥生土器・石器・鉄器 土製品・玉類 土師器・須恵器・土製品 鉄器・鉄滓・鞴羽口	細形銅戈鋳型（平原遺跡と同一個体） 弥生土器焼成遺構・焼土坑 古代の掘立柱建物群